

1、研究課題名

急性冠症候群もしくは急性心筋梗塞発症前の責任および非責任冠動脈病変の特徴；
～ 冠動脈 CT による多施設協同後ろ向き観察研究 ～

2、研究責任者

豊橋ハートセンター 診療放射線技師 技師長 松下俊一

3、研究の概要

冠動脈 CT から急性冠症候群もしくは急性心筋梗塞発症前の責任および非責任冠動脈病変の特徴からイベント発症の可能性を推定できるかを目的とします。

4、研究方法

・ 対象となる患者様

対象は 2009 年から現在までの間に新規に ACS もしくは AMI を発症した患者で、発症 1 か月以上前に冠動脈 CT を実施した症例を対象とする。

・ 検討項目

- 1)性別、2) 年齢、3) 身長、4) 体重、5) BSA、6) BMI、CT 撮影時 HR、
- 7) リスクファクター(FH, DM, HT, DL, Smoking, CKD、CI)の有無、
- 8) 脂質(TC、LDL、HDL、TG)
- 9)薬(スタチン、アスピリン、チクロピジン(パナルジン)、クロビドグレル(プラビックス))

・ CT 画像解析

対象の心臓 CT ボリュームデータを匿名化し DVD に焼いて、コアラボ(岐阜ハートセンターCT 室)に郵送し、解析を行う。病変部を SCCT のガイドライン¹⁾に従って 1) Calcified plaque, 2) Partially calcified plaque, 3) Noncalcified plaque に分類する。2)と 3)については Damini ら^{2,3)}の開発したソフトウェアを用いて責任冠動脈病変と非責任冠動脈病変があれば両方のプラークを定量的解析する。

・ 解析項目は

- 1) 責任冠動脈病変と非責任冠動脈病変を CAG, CT, ECG などから総合的に決定

する。

- 2) plaque volume
- 3) necrotic core volume
- 4) positive remodeling index
- 5) 冠動脈周囲脂肪
- 6) 狭窄度

5、研究組織

この研究は、当院でのみ実施されます。

6、個人情報の取り扱い

利用する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前や住所等、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究結果は学会および学術雑誌にて発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。なお、利用する情報については、当院の研究責任者等が責任をもって適切に管理します。

7、問い合わせ先

豊橋ハートセンター

診療放射線技師 技師長 松下俊一

電話 0532-37-3535